

尚絅子育て研究センター 第17回公開シンポジウム

◎ 講演 〈9:30～11:00〉 管理棟5階 大講義室

『保護者との心地よい関係を築きながら ―愛着形成と自我の芽生えを育む保育実践―』

講師：今井 和子（子どもとことば研究会代表、元立教女学院短期大学教授）

近年、保育所持機児童問題が叫ばれる中で、とくに0,1,2才児の保育については、量的確保とともに、「保育の質」の維持・発展についても考えなければならない喫緊の課題となっています。今回の公開シンポジウムでは、そんな今日的課題にむかって、人間形成の土台となる乳幼児期の保育実践をより豊かにしていくために、今井和子先生を講師としてお招きし、上記のテーマについてご講演いただきます。皆様とともに、乳幼児期に大切にしたい保育のあり方を共有できたらと心より願っております。

今井 和子（いまい かずこ）

子どもとことば研究会代表、元立教女学院短期大学教授

〈プロフィール〉

20数年間、東京と川崎の公立保育園で保育士として働き、子どもの「ことば」、「自我の育ち」、「質の高い乳児保育の実践と子育て支援」を柱とした実践研究を積み重ねる。保育所を退職後、お茶の水女子大学非常勤講師を経て、東京成徳大学子ども学部教授、立教女学院短期大学幼児教育科教授。退職後は全国の研修活動を精力的に行っている。30数年間続いている「子どもとことば研究会」の代表を務める。



主な著書	「保育を変える記録の書き方・評価の仕方」（ひとなる書房）
「今、求められる質の高い乳児保育の実践と子育て支援」（ミネルヴァ書房）	「0歳児の育ち事典」DVD付 今井和子監修（小学館）
「自我の育ちと探索活動」（ひとなる書房）	「1歳児の育ち事典」DVD付 〃（小学館）
「集団って何だろう？」共著（ネルヴァ書房）	「2歳児の育ち事典」DVD付 〃（小学館）
「私の中の子どもと詩」（ひとなる書房）	「保育課程に基づく指導計画―その実践・評価」（ミネルヴァ書房）
「子どもとことばの世界」（ミネルヴァ書房）	「0,1,2歳児の担任になったら読む本・育ちの理解と指導計画」（小学館／新幼児と保育 MOOK）
「ことばに探る心の不思議」共著（ひとなる書房）	「遊びこそ豊かな学び」DVD付き（ひとなる書房）
「0・1・2歳児の心の育ちと保育」（小学館）	「012歳児の手作りおもちゃー85プランー」（世界文化社）
「家庭との連携と子育て支援」共著（ミネルヴァ書房）	「主任保育士・副園長・リーダーに求められる役割と実践的スキル」（ミネルヴァ書房）（*）
「表現する楽しさを育てる保育実践―言葉と文字の教育―」（小学館）	「保育士のための書き方講座」（全社協）（*）
「わたしの世界からわたしたちの世界へ」（フレーベル館）	「0歳児から5歳児、行動の意味とその対応」（小学館）（*）
「幼児向け図鑑 からだあそび」DVD付（小学館）	
「ことばあそび」CD付（小学館）	（*）の3冊は平成28年度の新刊です。

◎ 対談 〈11:10～12:30〉

管理棟5階 大講義室

『大切にしたい0・1・2歳児保育 ―指針の改定を踏まえて―』

平成30年4月1日より実施される「保育指針」「教育要領」「こども園要領」が3月末に正式に発表されました。とりわけ、現在の保育指針の施行後、平成27年4月から子ども・子育て支援新制度が施行され、0～2歳児を中心とした保育所等利用児童数が増加（1・2歳児保育所等利用率H20は27.6%→H27は38.1%）し、また子育て世帯における子育ての負担感や孤立感の高まり、児童虐待相談件数の増加等、保育をめぐる状況は依然として大きく変化しています。

このような状況の下、「新保育所保育指針」の改定が行われますが、乳児期からの保育の積み重ねは、3歳以上、学童期への成長につながっていく重要な課題として位置づけられます。

そこで今回のシンポジウムでは、熊本県内の保育所、小規模保育で実践されている3名の先生方をシンポジストとしてお招きし、乳児保育の実践や保育の中で大切にしていることをご紹介します。生涯にわたる人間形成にとっての出発点である0・1・2歳児のあるべき保育について共に考え合っていけたらと考えております。

シンポジスト：平山律子氏（菱形保育園園長）
岩坪絵里氏（はつの・あそびの森こども園保育教諭）
知識伸哉氏（小さな森の保育園代表）
コメンテーター：今井和子氏
コーディネーター：片桐真弓（本学幼児教育学科）

第32回サマーセミナー 各講座内容のごあんない

◎ 講座 〈13:30～15:30〉

1 深めよう! 0,1,2 歳児の保育（ 2号館1階 第1講義室 ）…………… 講師 今井和子

公開シンポジウム講演講師の今井和子先生を引き続き講師としてお招きして、意見交流を行います。午前の講演内容を踏まえて、「0,1,2歳児の保育の実践」について、日常の保育の悩みや課題点を出し合いながら話し合っていきたいと思います。

2 リズム遊び ―からだ全体で楽しさを表現―（ 管理棟5階 大講義室 ）…………… 講師 森みゆき

子ども達の笑顔があふれるリズム遊びの実践法を体験しましょう。保育現場ですぐに生かせる方法が満載です。ジャージ等、動きやすい服装で参加してください（講座の前に着替える場所があります）。また、特別な事情がない限り、原則として裸足での参加になります。定員は35名です。

3 子どものあそび わらべうた（ 1号館2階 リトミック室 ）…………… 講師 三島理恵、佐藤レイ子
（かごしまコダーイ芸術教育研究所）（小さな森の保育園）

幼い頃に遊んだ(遊んでもらった)記憶が、その人が大人になってからどれだけ支えになっているか想像がつかますか？ 現代の子どもの孤立化は人として成長していく中でたくさんのものを奪っているように感じます。「わらべうた」遊びを通して子どもは多くの経験を、近くにいる大人は慈しみを持って! さあ、遊びましょう。

4 実践! いざという時の乳幼児の救急法（ 1号館2階 音楽教室 ）…………… 講師 岩永留美、上村若子
（BLS くまもと）（BLS くまもと）

園内の子どもの病気やケガは成長の過程ともいえ全くゼロにするのは難しいもの。いざという時のために、これまでの「知っている」から「だからこうなのね」へ少し踏み込んだ乳幼児救急法知識とスキルに触れてみませんか？ 看護師・救急救命士が最新の蘇生ガイドライン2015を取り入れた内容でお伝えします。実践も行いますので動きやすい服装でご参加ください。定員は30名までです。

5 思いを伝えるポップアップカード作り（ 1号館1階 図工室 ）…………… 講師 横山博之

季節の行事や誕生日などに、祝いの言葉を書いて贈るグリーティングカード。その中でも今回は、開くと立体的に飛び出すポップアップカードづくりに取り組みます。メッセージやイラストなどを添えて、見た目にも華やかな、わーっという喜びや驚きを与えるようなカードをつくりましょう。定員は30名です。

6 保護者対応の心理学（ 2号館2階 第5講義室 ）…………… 講師 緒方宏明

保護者への対応は、どの園においても大きな課題ではないでしょうか。理論武装するのではなく、保護者の言い分を良い悪いを超えた次元で受け入れ、どこまでも信頼関係を前提に対応するための方法を考えます。①保護者の感情を受容すること、②現在の状況を客観的に理解すること、③今後の見通しをたてることが鍵になります。

7 新米保育者で語り合おう!（ 2号館1階 雑誌閲覧室 ）…………… 講師 重松由佳子

いい保育がしたいと思いつながりながら、自分の思ったように保育が出来なかったり、子どもの心が見えなくなったり。希望をもって保育者になったはずなのに…。そんな時は、日々の実践の一場面を取り上げて、仲間と共に語り合ってみませんか。自分らしい保育が見えてくるかもしれません。この講座は、経験年数3年以内の保育者が対象です。

◎ 閉講式 〈15:30～15:45〉 短大学生ホール

◎ オフィスアワー 〈15:45～16:45〉 幼教教員各研究室

卒業生の方は久しぶりの母校で懐かしく思われることでしょう。教員は研究室で待機していますので遠慮せず尋ねてください。また、本校の卒業生以外の先生も大歓迎です。日頃から課題に思っている事や保育に関する悩みなどありましたら、我々と語り合いませんか。

管 理 棟：重松、柴田
短大1号館：曾田、森、緒方
短大2号館：市川、北口、二子石、
竹下、小川内、増淵、片桐、坂本、横山
体 育 館：柿原

各教員の
研究室